

# Cisco IOS ソフトウェアの VPN 向け統合サービス モジュールにおけるサービス妨害 ( DoS ) の脆弱性



アドバイザーID : cisco-sa-20180328-dos [CVE-2018-](#)

初公開日 : 2018-03-28 16:00

[0154](#)

最終更新日 : 2022-12-15 22:19

バージョン 1.1 : Final

CVSSスコア : [8.6](#)

回避策 : No workarounds available

Cisco バグ ID : [CSCvd39267](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco IOS ソフトウェアを実行している Cisco Integrated Services Module for VPN ( ISM-VPN ) の暗号エンジンに脆弱性があり、認証されていないリモート攻撃者により、該当するデバイスにサービス妨害 ( DoS ) の状態が引き起こされる可能性があります。

この脆弱性は、該当ソフトウェアによる VPN トラフィック処理が不十分であることに起因します。攻撃者は、巧妙に細工された VPN トラフィックを該当デバイスに送信することによって、本脆弱性を不正利用する可能性があります。不正利用に成功すると、攻撃者は該当デバイスのハングアップまたはクラッシュを引き起こし、その結果 DoS 状態が発生する可能性があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザーは次のリンクで確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20180328-dos>

このアドバイザーは、2018年3月28日に公開された22件の脆弱性に関する20件のシスコセキュリティアドバイザーを含むCisco IOSソフトウェアおよびIOS XEソフトウェアリリースのセキュリティアドバイザーバンドルの一部です。アドバイザーとリンクの一覧については、『Cisco Event Response: March 2018 Semiannual Cisco IOS and IOS XE Software Security Advisory Bundled Publication』を参照してください。



デバイス上で実行されている Cisco IOS ソフトウェア リリースは、管理者がデバイスにログインして、CLI で show version コマンドを使用し、表示されるシステム バナーを参照することにより確認できます。デバイスが Cisco IOS ソフトウェアを実行している場合、システム バナーに「Cisco Internetwork Operating System Software」や「Cisco IOS Software」などのテキストが表示されます。バナーにはインストールされたイメージ名もカッコ内に表示され、その後に、Cisco IOS ソフトウェアのリリース番号とリリース名が表示されます。一部のシスコデバイスでは、show version コマンドをサポートしていなかったり、別の出力が表示されたりします。

次に、Cisco IOS ソフトウェア リリース 15.5(2)T1 が実行されていて、インストールされているイメージ名が C2951-UNIVERSALK9-M であるデバイスでのコマンド出力例を示します。

```
<#root>
```

```
Router>
```

```
show version
```

```
Cisco IOS Software, C2951 Software (C2951-UNIVERSALK9-M), Version 15.5(2)T1, RELEASE SOFTWARE (fc1)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2015 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Mon 22-Jun-15 09:32 by prod_rel_team
.
.
.
```

Cisco IOS ソフトウェア リリースの命名と番号付けの規則に関する詳細は、『[Cisco IOS and NX-OS Software Reference Guide](#)』を参照してください。

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

シスコは、この脆弱性が Cisco IOS XE ソフトウェア、Cisco IOS XR ソフトウェア、Cisco NX-OS ソフトウェアには影響を与えないことを確認しました。

## 回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

## 修正済みソフトウェア

シスコはこのアドバイザリに記載された脆弱性に対処する無償のソフトウェアアップデートをリリースしています。お客様がインストールしたりサポートを受けたりできるのは、ライセンスをご購入いただいたソフトウェア バージョンとフィーチャ セットに対してのみとなります。そのよ

うなソフトウェアアップグレードをインストール、ダウンロード、アクセスまたはその他の方法で使用した場合、お客様は以下のリンクに記載されたシスコのソフトウェアライセンスの条項に従うことに同意したことになります。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/end-user-license-agreement.html>

また、お客様がソフトウェアをダウンロードできるのは、ソフトウェアの有効なライセンスをシスコから直接、あるいはシスコ認定リセラーやパートナーから取得している場合に限りです。通常、これは以前購入したソフトウェアのメンテナンス アップグレードです。無償のセキュリティソフトウェア アップデートによって、お客様に新しいソフトウェア ライセンス、追加ソフトウェア フィーチャ セット、またはメジャー リビジョン アップグレードに対する権限が付与されることはありません。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、[シスコのセキュリティアドバイザリおよびアラート ( Cisco Security Advisories and Alerts ) ] ページで入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレード ソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center ( TAC ) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

サービス契約をご利用でないお客様

シスコから直接購入したが Cisco Service Contract をご利用いただいていない場合、また、サードパーティベンダーから購入したが修正済みソフトウェアを POS から入手できない場合は、Cisco TAC に連絡してアップグレードを入手してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>

無償アップグレードの対象製品であることを証明していただくために、製品のシリアル番号と、本アドバイザリの URL をご用意ください。

## Cisco IOS ソフトウェア

お客様が Cisco IOS ソフトウェアの脆弱性による侵害の可能性を判断できるよう、シスコでは [Cisco IOS Software Checker ツールを提供しています](#)。このツールにより、[特定の Cisco IOS ソフトウェア リリースに該当するシスコ セキュリティ アドバイザリ、および各アドバイザリで説明されている脆弱性が修正された最初のリリース \( 「First Fixed」 \) を特定できます](#)。また該当する場合、そのリリースに関するすべてのアドバイザリの脆弱性が修正された最初のリリース ( 「Combined First Fixed」 ) を特定できます。

このツールを使用して次のタスクを実行できます。

- ドロップダウン リストからリリース ( 複数可 ) を選択するか、分析対象となるローカル シ

システムからファイルをアップロードして、検索を開始する

- show version コマンドの出力をツールで解析する
- カスタマイズした検索 ( 過去に公開されたすべてのシスコ セキュリティ アドバイザリを検索対象に入れたり、特定のアドバイザリのみ、または最新のバンドル資料のすべてのアドバイザリを含めるなど ) を作成する

リリースが、公開されたシスコセキュリティアドバイザリのいずれかに該当するかどうかを確認するには、Cisco.comの[Cisco IOS Software Checker](#)を使用するか、以下のフィールドにCisco IOSソフトウェアリリース(たとえば、15.1(4)M2)を入力します。

## 不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team ( PSIRT ) は、2022 年 3 月に、この脆弱性のさらなるエクスプロイトが試みられたことを認識しました。これらの脆弱性が修正済みのソフトウェアリリースにアップグレードすることを、引き続き強くお勧めします。

## 出典

この脆弱性は Cisco TAC サポートケースの解決中に発見されました。

## URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20180328-dos>

## 改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.1	エクスプロイトに関する情報を更新。	不正利用事例と公式発表	Final	2022-DEC-15
1.0	初回公開リリース	—	Final	2018年3月28日

## 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。